

ハーモニー

平成 31 年 1 月 11 日
新発田市立七葉中学校
3 年 1 組学級だより No. 31
文責：安達 智美

3 学期スタート！



2019 年。あっという間に中学校最後の学期です。3 年生の 3 学期は、なんと言っても“入試”そして“卒業”です。ただでさえ短い 3 学期ですが、3 年生の 3 学期はもっと短い。1 日 1 日、入試に向けて後悔のないよう、また、仲間との時間を大切に過ごしていきましょう。

3 学期 1 日目に『今年の漢字一文字』を書きました。残りの中学校生活はもちろん、4 月からのことも想像しながら書き上げました。

2019 年を漢字一文字で表すと



| | |
|---|---|
| 開 | 開志国際を受検し、卓球をがんばりたいから。 |
| 合 | 高校に合格できるようにしたい。だから勉強をがんばる。合格しても勉強頑張ってる続ける。 |
| 努 | テスト・模試・入試などの勉強にしっかりと努力して取り組む。 |
| 明 | 中学校生活明るく笑って終われるようにする。高校生になっても新しい仲間と明るく過ごせるようにする。 |
| 合 | 志望校に合格したいから。 |
| 勉 | 今年 1 年は勉強をたくさんしていこうと思うから。 |
| 新 | 新しい出会いがあるから。新しいことにチャレンジする。 |
| 苦 | 苦手なものが多いので、少しでも苦手なものを減らしたいから。 |
| 努 | 努力を出来るだけしたい。 |
| 敬 | 高校に進学すると自分が下級生になるので、上級生を敬うようにして何事もない平和な年にしたい。 |
| 頑 | 受検勉強や高校で部活を頑張りたいから。 |
| 頑 | 今年 1 年間頑張る。面接で大きな声を出す。 |
| 幸 | 受検合格して幸せ。中学校卒業して幸せ。高校生活うまく行って幸せ。 |
| 楽 | たくさんの初めてのことをその度に楽しんでいきたいし、緊張癖があるので肩の力を抜いて、楽になることも大事だと思ったから。 |
| 磨 | 高校でバレーの技術を磨きたいから。 |
| 頑 | 頑張る。とにかく頑張る。 |

| | | |
|--|---|--|
| | 努 | 勉強を努力して取り組む。 |
| | 合 | 新発田高校合格したい。 |
| | 達 | 自分の目標を達成したいから。自分で目標を立て、それに向かって進んでいきたいです。 |
| | 新 | 新しい出会いがあって、新しいことに挑戦していきたいから。 |
| | 勉 | 受検まで勉強を頑張りたいし、高校へ行っても頑張りたいから。 |
| | 食 | 好き嫌いを完全に無くす。 |
| | 瘦 | 去年は太ったので高校の出会いのために痩せる。 |
| | 実 | 合格という夢が実って、充実した生活を送りたいから。 |
| | 解 | 出てくる問題を解けるようにする。 |
| | 夢 | 高校生活が始まり、新しい地で野球ができるので夢を叶えたいから。 |

「茶断ち」。みんなは何を断つ？

「茶断ち」という言葉を知っていますか？「あることの成就を願って、その願いが叶うまで、一定期間、お茶を飲まない」ことを言います。今のみんなには、そんな厳しさも必要ではないでしょうか。テレビ、ゲーム、ライン、パソコン、マンガ、音楽、チョコレート…。何を断つかは、自分が決めること。でも、**“断つ”と決めたら、守り続けること。**それができないようなら、祈願成就も望みなしということです。これからの集中した勉強で、志望校への合格も可能なところへ近づいていきます！

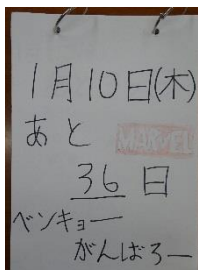
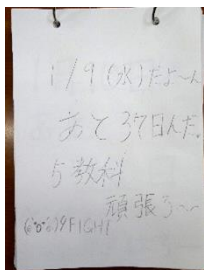


必要以上に「自分はダメだ」とか、「これは苦手だから」といって悲観して勉強から遠ざかってはいけません。「ダメだ」「苦手だ」と思ったら、**それを乗り越える努力をし、実行すること。その気になってがんばれば不可能ではないのです。**必死になってやるのです。**一日を終える時、“今日はやったぞ！”と、自分自身に納得できる毎日**にしてください。公立入試まで、残り54日。毎日続ければ、大きな力になります！

始業式では、Aさんが新潟県の選抜選手としての活動を振り返り、全校の前で発表しました。大会まで休日の休みも無く、練習に励んでいました。お疲れ様でした。

卒業カウントダウンカレンダー

3学期の登校日数は39日。授業、給食は残り38日。



JOCの活動を通して学んだことは、仲間との協調性を高めることの大切さです。協調性を高めることで試合中の声かけやコミュニケーションをとることができ、細かなミスをなくすることができます。

最初は、なかなかコミュニケーションとることができず、簡単なミスをするものが多くありましたが、だんだん声かけができるようになり、ミスも少なくなりました。

大会当日では、今まで練習してきたことを思い出し、緊張することなく試合に臨むことができました。結果はベスト32でしたが、新潟県代表として全国大会に出たことを誇りに思い、この経験を今後に生かしたいと思います。応援ありがとうございました。